

# 低出生体重で入院される赤ちゃんのご家族へ

患者ID  
氏名

担当医  
担当看護師  
配布日

	入院: 1病日 /	2病日 /	3病日 /	4~11病日 / ~ /	12~19病日: 退院 / ~ /
達成目標	・38.0度以上の発熱がない				・経口哺乳ができる
内服		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します		・出血予防のためのケイツーシロップを内服します (6病日)	
注射	・点滴をします 				
検査	・採血 ・のど・皮膚・便の細菌検査 ・レントゲン			・採血(6病日)	
	・身長・体重・胸囲測定 ・頭囲測定(週1回)		・体重測定(毎日)		
処置	・保育器で過ごします			・状態により赤ちゃん用ベッドに移ります	
	・眼の感染を予防するために軟膏を塗布します				
	・中心静脈カテーテルを挿入します				・中心静脈カテーテルを抜きます
	・心電図、酸素飽和度モニターをつけます				・心電図、酸素飽和度モニターを外します
	・胃チューブを入れます			・必要量を経口哺乳できるようになったら、胃チューブを抜きます	
食事	・1日8回、母乳またはミルクを授乳します	・1日8回、母乳またはミルクを授乳します ・母乳またはミルクは、消化の具合を見ながら1回量を増やします ・医師の許可後は直接授乳ができます			
清潔		・身体を拭きます	・身体拭きもしくは沐浴を行います 		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療や処置について説明します ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します		・母親学級のパンフレット等を用いて、育児指導を行います ・退院後の生活について説明します		・医師が、入院中の経過と退院後に気をつけて欲しい事等について説明します 
その他	・新生児の成長発達を促すため、子宮内にいた時の姿勢に近づけたポジショニングを行います ・処置や治療などによるストレスを緩和するケア(ホールディングやタッチングなど)を行います 				
	・治療、検査の同意書は職員にお渡しください		・医師の許可後、看護師と共に体温測定やおむつ交換、沐浴を行います ・母親学級のパンフレット等を用いて、育児指導を行います		・必要時、退院後の生活をイメージできるように、養育者の方が児と一緒に病室で1日過ごします

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。